

新潟県標準配合表

設計表示名称	仕様内訳(配合)						適用構造物	設計基準強度(σ _{ck}) N/mm ²	標準価格 (円/m ³)	
	種類 記号	呼び 強度	スラブ 又は スランブフロー (cm)	粗骨材の 最大寸法 (mm)	種類 記号	水セメント 比 W/C(%)				セメント 量C (kg /m ³)
18-8-25(20) ^{※14} (高炉) w/c≤65%	普通	18	8~18 ^{※11}	25(20) ^{※14}	BB	65以下	[共通]	均しコンクリート	-	20,200
18-8-40(高炉) w/c≤65%	普通	18	8~15 ^{※11}	40	BB	65以下	[共通] [砂防]	均しコンクリート 地すべり抑止鋼管杭中詰コンクリート	-	20,200
18-8-25(20) ^{※14} (高炉) w/c≤60%	普通	18 ※21	8~18 ^{※11}	25(20) ^{※14}	BB	60以下	[トンネル] [河川・砂防] [下水道]	管渠の巻立コンクリート、基礎コンクリート、 側溝、集水溝、埋戻しコンクリート、 ブロック積(張)の崩込・裏込コンクリート トンネル(インバート) 笠コンクリート 下水道構造物(無筋)	18	20,700
18-8-40(高炉) w/c≤60%	普通	18 ※21	8~15 ^{※11}	40	BB	60以下	[共通] [道路] [トンネル] [河川・砂防] [下水道]	擁壁(無筋)、管渠の巻立コンクリート、 基礎コンクリート、 側溝、集水溝、埋戻しコンクリート 橋台(無筋)、橋脚(無筋) トンネル(インバート) 笠コンクリート 下水道構造物(無筋)	18	20,700
18-5-40(高炉) w/c≤60%	普通	18	5~15 ^{※11}	40	BB	60以下	[河川・砂防]	砂防コンクリート(護岸工を除く)	18	20,700
21-8-25(20) ^{※14} (高炉) w/c≤60%	普通	21	8~18 ^{※11}	25(20) ^{※14}	BB	60以下	[河川・砂防] [海岸]	河川構造物(無筋)、 練石積(張)の崩込・裏込コンクリート 海岸構造物(無筋)	21	20,700
21-8-40(高炉) w/c≤60%	普通	21	8~15 ^{※11}	40	BB	60以下	[河川・砂防] [海岸]	河川構造物(無筋)、河川根固ブロック 海岸構造物(無筋) 海岸消波根固ブロック(無筋)	21	20,700
21-8-25(20) ^{※14} (高炉) w/c≤55%	普通	21 ※24	8~18 ^{※11}	25(20) ^{※14}	BB	55以下	[河川・砂防]	水密性・凍結融解抵抗性を要求する 河川構造物(無筋) ^{※16}	21	21,100
21-8-40(高炉) w/c≤55%	普通	21 ※24	8~15 ^{※11}	40	BB	55以下	[河川・砂防]	水密性・凍結融解抵抗性を要求する 河川構造物(無筋) ^{※16}	21	21,100
24-12-25(20) ^{※14} (高炉) w/c≤55%	普通	24	12~18 ^{※11}	25(20) ^{※14}	BB	55以下	[共通] [道路] [河川・砂防] [下水道]	擁壁(鉄筋)、函渠、側溝蓋、 集水溝蓋、胸壁(パラペット)、ケーソン 橋台(鉄筋)、橋脚(鉄筋)、地覆 河川構造物(鉄筋) 下水道構造物(鉄筋)	24	21,100
24-12-40(高炉) w/c≤55%	普通	24	12~15 ^{※11}	40	BB	55以下	[共通] [道路] [河川・砂防] [下水道]	擁壁(鉄筋)、函渠、ケーソン、深礎 橋台(鉄筋)、橋脚(鉄筋)、地覆 河川構造物(鉄筋) 下水道構造物(鉄筋)	24 (21) は 深礎	21,100
30-12-25(20) ^{※14} (高炉) w/c≤50%	普通	30	12~18 ^{※11}	25(20) ^{※14}	BB	50以下	[道路] [海岸]	【塩害対策用】 ^{※17} 橋台(鉄筋)、橋脚(鉄筋)、地覆 擁壁(鉄筋)、函渠 【塩害対策用】 ^{※17} ;海岸構造物(鉄筋)	30	22,000
30-12-40(高炉) w/c≤50%	普通	30	12~15 ^{※11}	40	BB	50以下	[道路] [海岸]	【塩害対策用】 ^{※17} 橋台(鉄筋)、橋脚(鉄筋)、地覆 擁壁(鉄筋)、函渠 【塩害対策用】 ^{※17} ;海岸構造物(鉄筋)	30	22,000
30-12-25(20) ^{※14} (高炉) w/c≤55%	普通	30	12~18 ^{※11}	25(20) ^{※14}	BB	55以下	[道路]	消費バイブ埋戻	30	22,000
(30)-15-25(20) ^{※14} (高炉) C ₃₀ ≥350kg w/c≤55%	普通	(30) ^{※33}	15~21 ^{※11}	25(20) ^{※14}	BB	55以下	[共通]	場所打ち杭 (ベントリバー、アースドリル等)	24	22,800
(30)-15-40(高炉) C ₃₀ ≥370kg w/c≤50%	普通	(30) ^{※36}	15(18) ^{※11;※22}	40 ^{※14;※15} 25(20)	BB	50以下	[海岸]	海洋コンクリート(無筋) (水中コンクリート)	-	24,300
(18)-15-40(高炉) C ₂₀ ≥270kg w/c≤60%	普通	(18) ^{※24}	15(18) ^{※11;※22}	40 ^{※14;※15} 25(20)	BB	60以下	[トンネル]	トンネル(アーチ、側壁)	-	21,100
24-12-25(20) ^{※14} (普通) w/c≤55%	普通	24	12~18 ^{※11}	25(20) ^{※14}	N	55以下	[道路]	PC橋・RC橋のスラブ桁の中詰、 床版 ^{※7} 、RC中空床版 ^{※7}	24	20,900
30-12-25(20) ^{※14} (早強) w/c≤55%	普通	30	12~18 ^{※11}	25(20) ^{※14}	H	55以下	[道路]	PC桁(横組)	30	23,600
30-12-25(20) ^{※14} (普通) w/c≤55%	普通	30	12~18 ^{※11}	25(20) ^{※14}	N	55以下	[道路]	合成床版 ^{※7}	30	21,800
30-12-25(20) ^{※14} (普通) w/c≤50%	普通	30	12~18 ^{※11}	25(20) ^{※14}	N	50以下	[道路]	【塩害対策用】 ^{※17} ;PC橋・RC橋の スラブ桁の中詰、床版 ^{※7} 、RC中空床版 ^{※7} 、 合成床版 ^{※7}	30	21,800
30-12-25(20) ^{※14} (早強) w/c≤45%	普通	30	12~18 ^{※11}	25(20) ^{※14}	H	45以下	[道路]	【塩害対策用】 ^{※17} ;PC桁(横組)	30	23,600
40-12-25(20) ^{※14} (早強) (JIS同等品) w/c≤55%	普通	40	■ 12~21 ^{※11;※13} (45~60)	25(20) ^{※14}	H	55以下	[道路]	PC桁(T桁) ^{※7} 高性能AE減水剤等使用	40	27,100
40-12-25(20) ^{※14} (早強) (JIS同等品) w/c≤55%	普通	40	■ 12~21 ^{※11;※13} (45~60)	25(20) ^{※14}	H	55以下	[道路]	PC桁(箱桁、中空床版 ^{※7}): 高性能AE減水剤等使用	40	27,100
40-12-25(20) ^{※14} (早強) (JIS同等品) w/c≤45%	普通	40	■ 12~21 ^{※11;※13} (45~60)	25(20) ^{※14}	H	45以下	[道路]	【塩害対策用】 ^{※17} ;PC桁(箱桁、中空床版 ^{※7}): 高性能AE減水剤等使用	40	27,100
曲げ4.5-2.5-40(高炉) w/c≤45%	舗装	曲げ4.5	2.5	40	BB	45以下	[道路]	コンクリート舗装	曲げ4.5	☆ 20,100
曲げ4.5-6.5-40(高炉) w/c≤45%	舗装	曲げ4.5	6.5	40	BB	45以下	[道路]	コンクリート舗装 (簡易な舗設機械及び人力による舗設)	曲げ4.5	21,600

基本 1. 用途については標準的なものを示したもので、構造物の目的、現場・施工条件等を考慮して水セメント比、スラブ等の配合を決定する。
 2. コンクリートの配合は、原則として構造物の設計基準強度または要求性能上必要な水セメント比のいずれか厳しい条件で選定する。
 セメント 3. 「セメントの種類による記号」とは次のとおりとする。【N：普通ポルトランドセメント、BB：高炉セメントB種、H：早強ポルトランドセメント】
 4. セメントは、橋梁上部工に用いるコンクリートを除き、原則として高炉セメントB種を使用する。なお、海岸・砂防以外の用途では、確実なひび割れ対策が必要な場合、早期強度を必要とする場合や寒中コンクリートの場合等、必要に応じて高炉セメントB種以外のセメントを使用出来る。
 5. 鋼橋のコンクリート床版では収縮に問題が無く、入念な養生を行うことで高炉セメントB種を使用することができる。
 6. 普通ポルトランドセメントを使用する場合は「セメントの種類による記号」欄のBBをNと読み替え、「普通ポルトランドセメント使用の場合の単価コード」欄の単価コードを使用する。
 混和材(剤) 7. 床版、合成床版、PC床版等で膨張材を使用する場合など、特殊な混和材(剤)を使用する場合は、別途考慮する。
 強度 8. 呼び強度は、早強ポルトランドセメント及び特殊な配合を使用する場合を除き、28日の供試体強度とし、圧縮強度試験は、JIS A 1108及びJIS A 1132、曲げ強度試験は、JIS A 1106及びJIS A 1132による。
 9. 呼び強度の()内は参考値である。
 空気量 10. 空気量は4.5%を標準とする。
 スラブ 11. コンクリートのスラブは「設計表示名称」欄の値を標準(鉄筋コンクリートのスラブは12cmを標準)とするが、「スラブ又はスランブフロー」欄に示す範囲で変えることができる。但し、スラブが12cmを超える場合は、平成29年9月27日付け技第408号「コンクリート工の生産性向上に係るガイドラインの運用について(通知)」に従うこと。
 12. トンネル(アーチ、側壁)、海洋コンクリート(無筋)(水中コンクリート)で施工条件等により受発注間で協議を行い骨材最大寸法を25(20)mmとした場合、スラブを18cmとすることができる。
 13. 40-12-25(早強)について、施工条件等により受発注間で協議を行いスランブフロー45cm~60cmに変更することができる。
 骨材 14. 粗骨材規格欄の25(20)は、25mm砂利か、20mm砕石のいずれかを使用する生コンであることを示す。
 15. トンネル(アーチ、側壁)、海洋コンクリート(無筋)(水中コンクリート)は、施工条件等により受発注間で協議を行い骨材最大寸法を25(20)mmとすることができる。
 耐久性 16. 水密性を要求する構造物は水槽・地下室等の構造物、凍結融解抵抗性を要求する構造物は連続してあるいはしばしば水で飽和される部材断面が20cm程度以下の構造物(地中の構造物を除く)とする。
 17. 塩害地域の橋梁等における耐久性に関する設計上の目標期間として100年を目安とする場合の水セメント比は、道路橋示方書・同解説Ⅲコンクリート橋・コンクリート部材編(平成29年11月、社団法人日本道路協会)P186表-解6.2.1に示す水セメント比以下とする。
 条件明示 18. 注4.5.6.7.10.11.12.13.15.17で標準と異なる条件となる場合は、施工条件総括表に明示する。

- ★ ☆印呼び強度曲げ4.5について、スラブ2.5cmの場合は運搬費を含みません。別途協議となります。
- ★ 表のw/c(水セメント比の値)は指定値であり、納入コンクリートの実測保証の値ではありません。
- ★ ※の強度は、弊組合が対応する呼び強度です。
- ★ ■印スランブフロー(45~60)の価格は別途協議となります。

令和5年度 生コンクリート標準価格表

(本価格表には消費税は含まれておりません。)

長岡地区生コン事業協同組合

組合員：長陵北越生コン(株) 藤村クレスト(株) 大和コンクリート(株)
 新潟太平洋生コン(株) (株)今町ブロック瓦工業 栃尾産業(株)
 (株)柏崎生コン 長栄工業(株)

〒940-2127 長岡市新産4丁目4番地4
 TEL (0258)46-9595(代)
 FAX (0258)46-9597
 E-mail: naganama@crux.ocn.ne.jp

長岡地区生コン事業協同組合製造工場名簿

令和4年度 全国統一品質管理監査合格工場

株式会社今町ブロック瓦工業 生コン部

〒954-0111 ☎(0258) 66-3098
 見附市今町7丁目8番17号 FAX 66-3279

エヌシー株式会社

〒949-5403 ☎(0258) 41-3666
 長岡市越路中島18番地1 FAX 41-3668

長陵北越生コン株式会社

〒940-1161 ☎(0258) 36-4701
 長岡市左近町1020番地 FAX 36-4727

藤和生コン株式会社

〒949-5406 ☎(0258) 22-1138
 長岡市浦4145番地 FAX 22-1236

栃尾産業株式会社

〒940-0203 ☎(0258) 52-1538
 長岡市楡原705番地1 FAX 52-5004

【普通コンクリート価格】

普通セメント			
呼び強度	粗骨材最大寸法		標準価格 (円/㎡)
	25mm	40mm	
	スランプ(cm)		
18	8・10・12・15・18	5・8・10・12・15	20,000
21	8・10・12・15・18・21	5・8・10・12・15	20,500
24	8・10・12・15・18・21	5・8・10・12・15	20,900
27	8・10・12・15・18・21	5・8・10・12・15	21,300
30	8・10・12・15・18・21	5・8・10・12・15	21,800
33	8・10・12・15・18・21	—	22,600
36	8・10・12・*(15・18・21)	—	24,100
40	* (12・15・18・21)	—	24,700
42	* (12・15・18・21)	—	25,500
45	* (12・15・18・21)	—	26,400
曲げ 4.5	2.5	2.5	(注) 19,900
	6.5	6.5	21,400

●別途計算による価格設定について
 ①上記の標記以外の配合を指定になる場合 ②単位水量上限値指定の場合

【特殊コンクリート価格】

名称	標準価格 (円/㎡)
モルタル	1:1 33,000
	1:2 27,000
	1:2.5 25,500
	1:3 24,000
	1:4 22,600
豆砂利コンクリート (C300 kg/㎡)	22,100

(注)上記以外の配合は別途協議となります。

- ★工場渡しについては、**2,000円/㎡**割引となります。
- ★残コン戻りコンが発生した場合、**5,000円/㎡**の料金が発生します。なお、1㎡未満は、**3,000円/台**となります。
- ★検査のための試験や試し練りを、生コン工場に依頼される場合は、新潟県生コンクリート工業組合のコンクリート試験代行料金表によります。

■ 工事現場への生コン車両の誘導及び工事現場内の車両誘導は、購入者側でお願いいたします。

■ 消費税の取り扱いについて

- ① 見積書、注文書、注文請書、契約書については「税抜き表示」といたします。
- ② 請求書、領収書は表示価格と消費税額を「別建て表示」し、合計額が取引額となります。

高炉セメントB種 割増料金
 普通セメントに**200円**を加算した価格になります。

早強セメント 割増料金
 普通セメントに、次の**割増額**を加算した価格になります。

呼び強度	割増額 (円/㎡)
18	900
21	1,100
24	1,300
27	1,500
30	1,800
33	2,000
36	2,200
40	2,400
42	2,600
45	2,900
曲げ 4.5	1,800

*印については高性能 AE 減水剤使用
 (注)呼び強度 曲げ 4.5、スランプ 2.5 cm 舗装コンクリートは運搬費を含みません。別途協議となります。

北陸地方整備局標準配合

番号	仕様内訳(配合)							使用目的	許容圧縮応力度 (σca)	設計基準強度 (σck)	標準価格
	規格	呼び強度	Sφ	MS	W/C	C	セメントの種類				
1	規格品	18	(cm) 8	(mm) 40	(%) 65以下	(kg/㎡) —	B・B	均しコンクリート	(N/mm ²) —	(N/mm ²) —	20,200
2	〃	18	8	40	60以下	—	B・B	法枠及び中詰(道路)、側溝、集水溝、管渠、ブロック積(張)及び練石積(張)の胴込・裏込、基礎、橋台・橋脚(無筋)、コンクリート擁壁(無筋)	4.5	18	20,700
3	〃	24	12	40	55以下	—	B・B	河川構造物(鉄筋)	8	24	21,100
4	〃	24	12	40	55以下	—	B・B	橋台・橋脚(鉄筋)、函渠、PC橋・RC橋の地覆、コンクリート擁壁(鉄筋)(注)8.参照	8	24	21,100
5	〃	24	12	25 (40)	55以下	—	N (深礎のみB・B又はN)	PC橋・RC橋のスラブ桁の中詰、深礎、床版、RC中空床版(注)8.参照	8 (7)	24 (21)	20,900
6	〃	30	12	25	55以下	—	N	PC桁(横桁)(注)8.参照	10	30	21,800
7	〃	30	12	25	55以下	—	N	合成床版(注)8.参照	8	30	21,800
8	〃	40	12	25	55以下	—	H	PC桁(T桁)(注)8.参照	—	40	27,100
9	規格外品	40	12	25	55以下	—	H	PC桁(箱桁、中空床版)高性能 AE 減水剤使用(注)8.参照	—	40	27,100
10	規格品	30	18	25	55以下	350以上	B・B	場所打杭(ベント、リバースアースドリル)	8	24	22,800
11	〃	(18)	15	40	60以下	270以上	B・B	トンネル(アーチ、側壁)	—	—	21,100
12	〃	(18)	8	40	60以下	—	B・B	トンネル(インバート)	—	—	20,700
13	〃	曲げ 4.5	2.5	40	55以下	—	B・B	舗装コンクリート	曲げ 4.5	—	☆ 20,100
14	〃	曲げ 4.5	6.5	40	55以下	—	B・B	舗装コンクリート	曲げ 4.5	—	21,600
15	〃	18	8	40	65以下	—	B・B	歩道舗装コンクリート	—	18	20,200
16	〃	21	8	40	65以下	—	B・B	乗り入れ舗装コンクリート	—	21	20,700
17	〃	21	8	40	60以下	—	B・B	河川構造物(無筋)、水制、根固コンクリートブロック	—	—	20,700
18	規格外品	21	5	25	60以下	—	B・B	河川護岸法枠中詰	—	—	20,700
19	規格品	18	8	25	60以下	—	B・B	河川護岸のブロック積(張)、練石張りの裏込、胴込	—	—	20,700

- (注) 1. セメントの種類
 N…普通ポルトランドセメント H…早強ポルトランドセメント B・B…高炉セメントB種
 2. セメントの種類としてB・Bを使用する規格のうち、海岸、砂防用以外のものは必要に応じてNを使用することができる。
 3. 番号1、2、12について、Sφ8cmによりがたい場合はSφ12cmとすることができる。
 4. 番号1、2、4、11、12について、MS40mmによりがたい場合はMS25mmとすることができる。
 5. 呼び強度の()内は参考値である。
 6. 超流動コンクリートを使用する場合は「超流動コンクリート施工要領(案)」(土木工事現場必携に掲載)により管理すること。
 7. 土木構造物設計マニュアル(案)による設計の場合、番号4の配合を標準とする。
 8. 番号4から9のうち、深礎を除くコンクリートについては橋梁における耐久性に関する設計上の目標期間として100年を目安とする場合は、前表におけるW/Cは道路橋示方書・同解説 Ⅲコンクリート橋・コンクリート部材編(平成29年11月、公益社団法人日本道路協会)P180表-解6.2.1に示すW/C以下とする。なお、鉄筋コンクリート構造W/C50%以下の場合は呼び強度30、設計基準強度30N/mm²を標準とする。

- ★ ☆印呼び強度曲げ4.5について、スランプ2.5cmの場合は運搬費を含みません。別途協議となります。
- ★ 表のw/c(水セメント比の値)は指定値であり、納入コンクリートの実測保証の値ではありません。